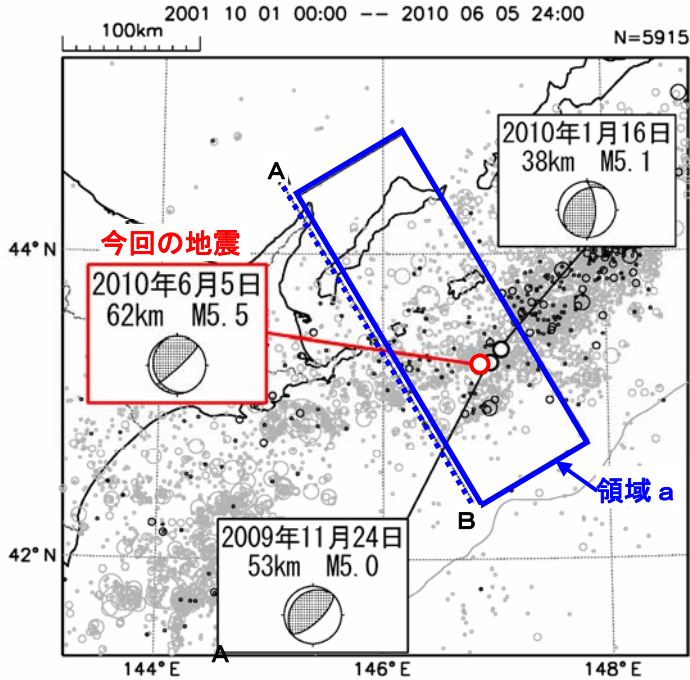


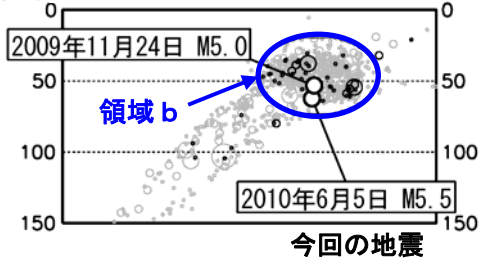
6月5日 北海道東方沖の地震

震央分布図

(2001年10月～2010年6月5日、
M \geq 3.0、深さ0～150km)

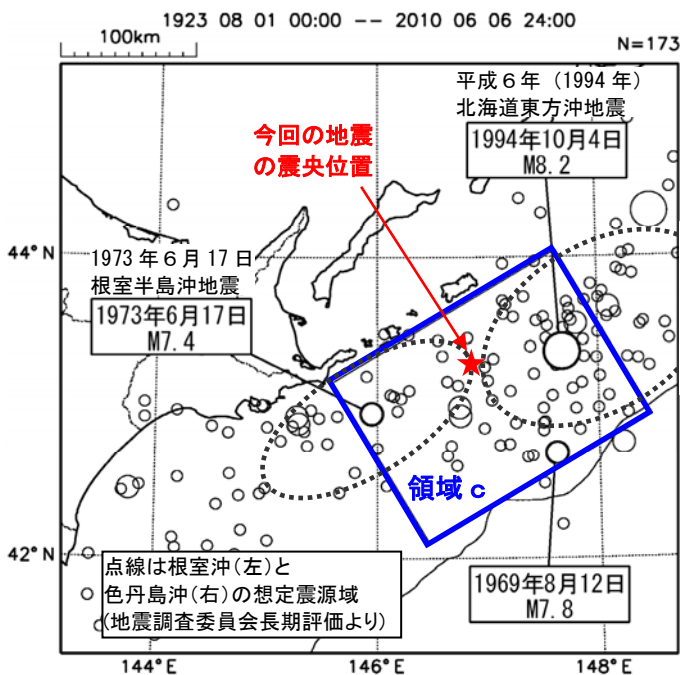


(km) A 領域 a 内の断面図 (A-B 投影) B



震央分布図

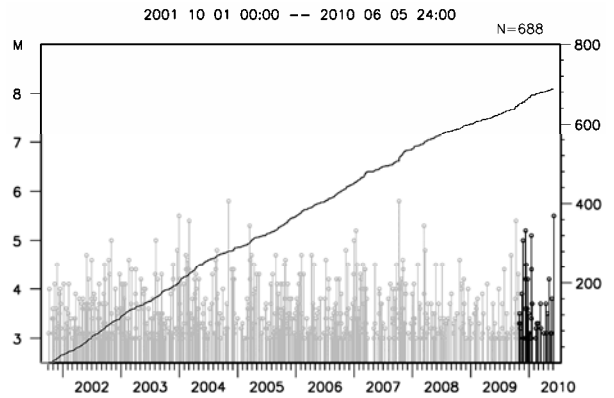
(1923年8月以降、M \geq 6.0、深さ0～100km)



2010年6月5日14時22分、北海道東方沖の深さ62kmでM5.5の地震(最大震度3)が発生した。この地震の発震機構(CMT解)は西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型であった。

2001年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源周辺(領域b)では、M5.0以上の地震が度々発生しており、最近では、2010年1月16日にM5.1の地震(最大震度3)の地震が発生している。

領域 b 内の地震活動経過図、回数積算図



1923年8月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、M7.0以上の地震が時々発生している。「1973年6月17日根室半島沖地震」(M7.4、最大震度5)では、日本国内では負傷者26人の被害や津波(国内の最大は根室市花咲の280cm)による浸水被害等も発生した(被害は「最新版 日本被害地震総覧」による)。

領域 c 内の地震活動経過図

